

# 北海道大学はみなさまに支えられて活動を行っています!

このリーフレットは、多くの方々に北大の財務を知っていただき、活動をご理解いただくため、出来るかぎり平易な解説に努めて作成しました。今後も財務情報の公開には積極的に取り組んでいきます。ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽にお寄せください。

## 北海道大学の主な財務活動

### 収入

- **運営費交付金** 336億円  
大学の業務運営の財源として、国から交付されます。収入の約4割を占めています。法人化後8年間で95億円減少しています。
- **大学病院** 258億円  
患者数の増加や病床稼働率の向上などの経営努力により、法人化後8年間で58億円増加しています。
- **学生納付金** 97億円  
内訳は、授業料81億円、入学金14億円、検定料3億円です。収入の約1割を占めています。
- **外部資金** 115億円  
国からの補助金や企業等からの寄附金、受託研究等の獲得額増加のための積極的な施策を講じています。

**879 億円**

### 支出

- **教育関係** 208億円  
学生に対して行われる教育に要する経費です。教育水準の維持向上に努め、奨学金等の経済的支援もを行っています。
- **研究関係** 321億円  
教員の研究などに要する経費です。支出の約4割を占めており、卓越した学術研究の推進に努めています。
- **診療関係** 269億円  
大学病院における診療の実施に要する経費です。病院収入の増加を図る中で、抑制に努めています。
- **管理費等** 64億円  
管理運営に要する経費です。全学的な業務の効率化や経費の節減に取り組む、抑制に努めています。

**862 億円**

**収入 - 支出 = 17 億円**

国への借金返済 (大学病院の借入金) **22億円/年**があり、厳しい経営となっています。

## 本学のより詳細な財務情報は?

「財務レポート2013-財務データで見る北海道大学-」をご覧ください。

**アクセス方法:** 北大HPトップ▷広報・公開▷広報誌▷財務データで見る北海道大学▷財務レポート2013(平成24事業年度)

HPでは北大の最新情報を掲載しています。

## 北大の収入構造と事業展開

国立大学法人 北海道大学 財務部主計課財務管理室  
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 TEL 011-706-3991  
E-mail zaikan@finance.hokudai.ac.jp



# 北大の家計簿

北大の収入構造  
と事業展開



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

# 北大の収入構造と事業展開

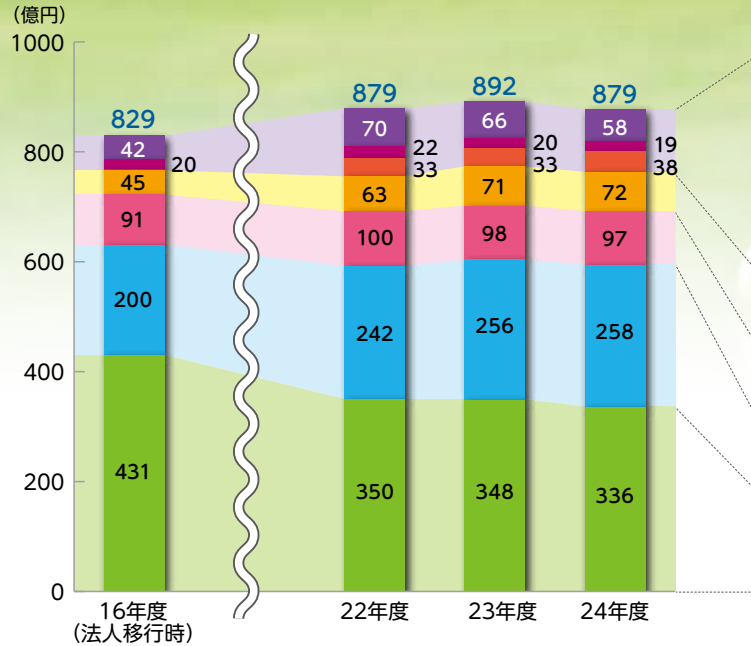
～持続可能な大学運営へ～

北大の収入には、運営費交付金、授業料等の学生納付金、病院診療収入、外部資金などがあり、右のグラフは、年度ごとの推移です。

平成16年度の法人移行時に比べ、国からの運営費交付金は年々減少して一方で、病院の診療収入やその他の自己収入は経営努力により増加傾向となっております。

外部資金の獲得も強化しておりますが、景気の影響を受けやすく、最近では厳しい状況となっております。

これらの多様な財源を活用し、持続可能な大学運営へ向けて、増収・経費削減等の経営努力を行いつつ、教育研究の充実・発展のため、様々な事業を展開しております。



区分 (構成比)	主な内容
外部資金	
受託等 (7%)	大学の研究者が企業または国等から委託を受けて、研究を行うために受入れるお金です。
寄附金 (2%)	学術研究に要する経費や教育研究の奨励を目的として、民間企業等から受入れるお金です。
補助金 (4%)	国等が特定の政策目標を達成するために給付されるお金です。
その他 (8%)	他の区分に分類されない収入で、動物病院の収入などが含まれます。
学納金	
学生納付金 (11%)	授業料、入学金、検定料から構成され、そのうち約80%が授業料です。
病大院学	
病院収入 (30%)	大学病院における医療行為等の対価として、患者保険者から病院へ支払われるお金です。
交付金	
運営費交付金 (38%)	国立大学の行う業務の財源の一部に充てるため、国が国立大学に対し毎事業年度交付する運営費です。

## 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度～



人獣共通感染症リサーチセンターの設置  
人獣共通感染症の克服を目指す世界初の教育研究拠点です。



農学部研究棟改修  
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う「PFI」という新しい手法が用いられました。



国際ショナルハウスの整備  
教育研究の国際交流促進のため、外国人留学生及び外国人研究者等の宿舎(国際ショナルハウス)を整備しました。



海外オフィスの設置  
ヘルシンキオフィス  
本学に係る入試情報や留学生制度の周知、本学から派遣している留学生の支援、大学との学術交流及び連携の支援等の業務を行っています。



ダ・ヴィンチ si サージカルシステムの導入  
身体に負担の少ない低侵襲な内視鏡下手術を支援するロボットです。



「新渡戸カレッジ」開校  
国際社会で活躍するグローバルリーダーの育成を目指し、平成25年4月に開校しました。



動物病院リニューアル  
施設の老朽化や近年の来院数の増加に伴う混雑等に対応すべく、平成25年5月にリニューアルオープンしました。

持続可能な大学運営の実現

世界水準の教育研究拠点を目指して、教育・研究の国際化や最新の設備の導入、老朽化した施設の改修等、限りある財源の中でヒト・モノに対する投資を計画的に行っています。

本学のより詳細な財務情報は **北大HP** をご覧下さい。  
アクセス方法は裏面へ!